

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

平成2年度 試験研究発表題名一覧表

研究室	題名	著者名	書名	巻(号)	ページ	年・月
育林部長	平成元年9月山口県北東部に発生した土砂災害	陶山 正憲	治山	35(1)	10~14	2. 4
	樹木根系による土層の繊維補強作用について	陶山 正憲 小林 忠一	第101回日本林学会大会講演要旨集		192	2. 4
	樹木根系の工学的評価に関する実験的研究(Ⅱ)―根圏土層の根系支持機構について―	陶山 正憲	砂防学会研究発表会概要集		142 ~ 145	2. 5
	治山ダムのクラックと防止対策	陶山 正憲	平成2年度治山研究会近畿支部技術検討会講演資料		1~10	2. 10
	地域防災対策特別整備治山事業調査報告書(広島県尾道市)	後藤 亮 (広島県) 栃木 省二 (広島大) 陶山 正憲	広島県尾道農林事務所		1~237	2. 10
	竹林の管理技術に関する今後の研究の進め方―関西支所特別検討項目―	陶山 正憲	森林総合研究所関西支所年報	(31)	67~70	2. 11
	山地災害と森林のかかわり	陶山 正憲	随想森林	(24)	88~90	3. 1
	Estimation of Environmental Conservation Effect for the Existing Urban and Suburban Forests in Japan.	陶山 正憲	日本緑化工学会誌	16(2)	9~16	3. 2
造 林	ユーカリ林の間伐・萌芽更新試験	加茂 皓一 Bopit Kiatvuttinon (タイ王室林野局)	第101回日本林学会大会講演要旨集		6	2. 4
	ユーカリ林萌芽枝の動態	加茂 皓一 Bopit Kiatvuttinon (タイ王室林野局)	第101回日本林学会大会講演要旨集		6	2. 4
	マダケ林の炭素循環	井鷲 裕司 河原 輝彦	第101回日本林学会大会講演要旨集		118	2. 4
	氷ノ山のミズメ林の樹齢構造と更新経過	清野 嘉之	第101回日本林学会大会講演要旨集		141	2. 4
	第101回日本林学会大会研究発表の概要(造林部門)	清野 嘉之 吉村 研介 丸山 温 井鷲 裕司	林業技術	(578)	24~26	2. 5
	森の不思議―ハイマツのない高山―	清野 嘉之	林野庁森林倶楽部情報誌	(5)	1~2	2. 7

森林総合研究所関西支所年報第32号 平成2年度

研究室	題名	著者名	書名	巻(号)	ページ	年・月
造 林	Growth dynamics of some fast growing tree species in Thailand.	加茂 皓一 Bopit Kiatvuttinon (タイ王室 林野局) Bunyarit Puriyakorn (タイ王室 林野局)	Abstracts of Symposium papers, V International Congress of Ecology		267	2. 8
	Establishment of understories in Hinoki (<i>Chamaecyparis obtusa</i>) plantations.	清野 嘉之	Abstracts of Symposium papers, V International Congress of Ecology		290	2. 8
	Carbon cycling in <i>Phyllostachys</i> (Gramineae, Bambusoideae) stands.	井鷲 裕司 河原 輝彦	Abstracts of the plenary, symposium papers and posters presented at the V international congress of Ecology.		417	2. 8
	A Markov approach for describing post-fire succession of vegetation.	井鷲 裕司 中越 信和 (広島大)	Ecological Research	5(2)	163 ~ 171	2. 8
	タイ国での早生樹林の生産力測定例	加茂 皓一	熱帯林業	(19)	26~34	2. 9
	複層林施業の知識	清野 嘉之	大阪宮林局技術開発室		1~8	2. 9
	宮島国有林の山火事跡地の植生回復	井鷲 裕司 加茂 皓一 徳本 克己 (広島宮林署)	第101回日本林学会大会発表論文集		417 ~ 419	2. 10
	林縁を利用した二段林の造成	清野 嘉之 河原 輝彦	第101回日本林学会大会発表論文集		465	2. 10
	ヒノキ壮齡林の群状伐区内における立体的光環境	井鷲 裕司 加茂 皓一	日本林学会関西支部大会講演集	(41)	183 ~ 186	2. 10
	ヒノキ人工林における下層植物群落の動態と制御に関する研究	清野 嘉之	森林総合研究所研究報告	(359)	1~122	2. 11
	スギ、ヒノキ樹下植栽木の生残と成長	加茂 皓一	森林総合研究所関西支所年報	(31)	24	2. 11
	京都市伏見区のスギの幹の断面積成長と夏の高湿、乾燥	清野 嘉之	森林総合研究所関西支所年報	(31)	25	2. 11
	山火事跡地のアカマツの更新	井鷲 裕司 加茂 皓一	森林総合研究所関西支所年報	(31)	29	2. 11
	都市近郊の一分類・評価方法	井鷲 裕司	森林総合研究所関西支所年報	(31)	39	2. 11
落葉広葉樹二次林の間伐試験	加茂 皓一 井鷲 裕司 清野 嘉之	森林総合研究所関西支所年報	(31)	42	2. 11	

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

研究室	題名	著者名	書名	巻(号)	ページ	年・月
造 林	海外派遣帰国報告(タイ造林研究訓練計画、国際協力事業団) —タイ王室林野局中央造林研究訓練センターにおける造林研究の一端—	加茂 皓一	森林総合研究所関西支所年報	(31)	63~66	2. 11
	Coppice growth of some tropical tree species in Mindanao island, The Philippines.	加茂 皓一 佐藤 明 Artemio L. Javing (フィリピン大)	JARQ	24	235 ~ 241	2. 2
	Relationship between canopy depth and other dimensions of coastal <i>Pinus thunbergii</i> Parl., forests in Japan.	金沢 洋一 清野 嘉之 藤森 隆郎	Tree Physiology	7	317 ~ 327	2. 12
	ヤダケ (<i>Pseudosasa japonica</i> Makino) 群落の地上部現存量と群落構造	井鷲 裕司	Bamboo Journal	8	9~16	2. 12
	ネズミサシの樹種特性(分布と資源状況、生態、育成法、遺伝特性)	清野 嘉之	森林総合研究所研究会報告	(9)	53~56	3. 1
	タケ・ササ類の樹種特性(分布・資源状況、生態、育苗と施業、遺伝特性、病虫害)	井鷲 裕司	森林総合研究所研究会報告	(9)	177 ~ 182	3. 1
	ミズメ個体群の更新機構と集団の成立条件、農林水産系生態秩序の解明と最適制御に関する総合研究(バイオコスモス計画)	清野 嘉之 井鷲 裕司	農林水産技術会議事務局平成2年度研究報告		130 ~ 131	3. 3
風 致 林	嵐山の風致解析と風致施業(1) 嵐山国有林の風致景観上の意義	天野 正博 野田 敏	森林総合研究所関西支所研究情報	(17)	2	2. 8
	Upsurge of environmental concern and the current attitude towards conservation in Japan.	杉村 乾	Environmental Conservation	17(3)	270 ~ 272	2. 9
	アマミノクロウサギ (<i>Pentalagus furnessi</i>) の糞の分布と森林遷移段階との関係について	杉村 乾	日本哺乳類学会1990年度大会講演要旨集		22	2. 9
	各種データベースの統合化と利用手法の開発	天野 正博 野田 敏 黒川 泰亨	平成元年度森林総研研究成果選集		14~15	2. 10
	森林の風致機能の計量的評価(Ⅱ) —評価のためのメッシュサイズ、視線入射角に関する考察—	野田 敏 天野 正博 澤田 耕作 (京 都 市)	第101回日本林学会大会発表論文集		157 ~ 160	2. 10
	シュミレーションによる林分構造の3次元表示(Ⅰ) —コンピュータによる樹冠形の近似—	天野 正博 野田 敏	第101回日本林学会大会発表論文集		191 ~ 192	2. 10
	航空写真からのグリッドデータ判読法—矩形グリッドマップの地形図から写真への転写プログラム—	野田 敏 澤田 耕作 (京 都 市)	日本林学会関西支部大会講演集	(41)	227 ~ 230	2. 10
	京都市街内からみた都市近郊林の視線入射角に関する調査 —京都市街東北部について—	野田 敏 天野 正博	森林総合研究所関西支所年報	(31)	35	2. 11

森林総合研究所関西支所年報第32号 平成2年度

研究室	題名	著者名	書名	巻(号)	ページ	年・月
風 致 林	森林の風致機能の計量的評価のためのメッシュサイズに関する考察	野田 巖 天野 正博	森林総合研究所関西支所年報	(31)	36	2. 11
	嵐山の風致解析と風致施業(2) —樹冠形のシュミレーション—	野田 巖 天野 正博	森林総合研究所関西支所研究情報	(18)	3	2. 11
	ユフロ世界大会で探る今後の林業研究動向	天野 正博	山林	(1280)	34~40	3. 1
	嵐山の風致解析と風致施業(3) アンケート調査結果の解析	杉村 乾 野田 巖 内村 雅一 天野 正博	森林総合研究所関西支所研究情報	(19)	2	3. 2
	研究ミニレビュー —風致林に関する研究—	内村 雅一 杉村 乾 野田 巖 天野 正博	森林科学	(1)	40~49	3. 2
土 壌	山の土は流れて消えるか	鳥居 厚志	森林総合研究所関西支所研究情報	(16)	3	2. 5
	書評：河田 弘著「森林土壌学概論」	金子 真司	ペドロジスト	34(1)	95~96	2. 6
	Genesis of Wet Podzolic Soils Derived from Recent Volcanic Ash in Central Japan.	金子 真司 吉永 秀一郎	The proceeding of 14th ICSS VII		443	2. 8
	高海拔地におけるヒノキ人工林の生育にかかわる立地要因	金子 真司	森林総合研究所所報	(23)	4~5	2. 8
	斜面土壌の乾湿と水移動	吉岡 二郎	〈水保全〉研究会報告	(1)	37~45	2. 10
	関東地方平地林におけるスギ林衰退の実態とその立地要因 群馬県北群馬郡における事例	森田 佳行 阿久 沢和夫 金子 真司 荒木 誠	日本林学会関東支部大会講演集	(42)	21	2. 10
	森林土壌中のテフラ起源粒子と母材の堆積状態 (IV) 氷ノ山の天然林下での事例	鳥居 厚志	第101回日本林学会大会発表論文集		263 ~ 266	2. 10
	森林土壌中のテフラ起源粒子と母材の堆積状態 (V) 和歌山県の天然林下での事例	鳥居 厚志 月森 明美 (京 都 大) 平井 英明 (京 都 大)	日本林学会関西支部大会講演集	(41)	197 ~ 200	2. 10
	表層土壌の樹幹周囲での酸性化について	鳥居 厚志	日本林学会関西支部大会講演集	(41)	201 ~ 202	2. 10
	表層土壌の樹幹周囲での酸性化について	鳥居 厚志	森林総合研究所関西支所年報	(31)	26	2. 11
	花崗岩山地土壌の保水状態	吉岡 二郎 鳥居 厚志	森林総合研究所関西支所年報	(31)	33	2. 11
	土壌物質の堆積の様式 氷ノ山における火山放出物の堆積状態	鳥居 厚志	森林総合研究所関西支所年報	(31)	40	2. 11
	化成肥料を施用したヒノキ幼齢林の重量成長	西田 豊昭 吉岡 二郎	森林総合研究所関西支所年報	(31)	41	2. 11

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

研究室	題名	著者名	書名	巻(号)	ページ	年・月
土 壤	花崗岩土壤にみられるA層の形成速度の一試算例	鳥居 厚志	森林総合研究所関西支所年報	(31)	55~58	2. 11
	近畿・山陽地方の花崗岩土壤中のテフラ起源粒子と母材の堆積状態	鳥居 厚志	ペドロジスト	34(2)	104 ~ 118	2. 12
	林地の保水機能—山里はどう水を貯えているか—	吉岡 二郎 鳥居 厚志	森林総合研究所関西支所研究情報	(19)	3	3. 2
	国際土壤科学会議に参加して	金子 真司	森林科学	(1)	66	3. 2
	The Practical Procedure of Systematic Soil Survey and Application of Their Results for on Afforestation.	吉岡 二郎	Silvicultural Seminar Vth Royal Forest Department, Thailand			3. 3
	新刊紹介：世界の土壤	金子 真司	日本林学会誌	73(2)	159	3. 3
	花崗岩山地における土壤A層の形成速度の一試算例	鳥居 厚志	土壤肥料学会講演要旨	(37)	140	3. 3
	和歌山県内の堆積岩を母材とした褐色森林土の垂直分布 褐色森林土の成因に関する研究(第4報)	平井 英明(京 都 大) 月森 明美(京 都 大) 久馬 一剛(京 都 大) 鳥居 厚志	土壤肥料学会講演要旨	(37)	141	3. 3
防 災	地球環境時代の森林水文学をめざして	服部 重昭	森林総合研究所関西支所研究情報	(17)	1	2. 8
	落葉広葉樹林における地面蒸発の特性	玉井 幸治 小林 忠一 服部 重昭	水・水学会1990年研究発表会要旨集		144 ~ 147	2. 8
	地表火から樹幹火への拡大に関する一考察	玉井 幸治 小林 忠一 服部 重昭	日本林学会関西支部大会講演集	(41)	293 ~ 296	2. 10
	樹木の形態と葉量が樹幹流下量に及ぼす影響	服部 重昭 小林 忠一 玉井 幸治	日本林学会関西支部大会講演集	(41)	297 ~ 300	2. 10
	模型実験による林野火災の延焼拡大要因の検討	小林 忠一 服部 重昭 玉井 幸治	森林総合研究所関西支所年報	(31)	30	2. 11
	樹種・降雨強度の違いが樹幹流下量に及ぼす影響	小林 忠一 服部 重昭 玉井 幸治	森林総合研究所関西支所年報	(31)	31	2. 11
	落葉広葉樹林における地面蒸発量の測定	玉井 幸治 小林 忠一 服部 重昭	森林総合研究所関西支所年報	(31)	32	2. 11
	落葉広葉樹林の水循環特性	服部 重昭 小林 忠一 玉井 幸治	森林総合研究所関西支所年報	(31)	34	2. 11
	ヒノキ林における土壤侵食の実態と防止のための施策	服部 重昭	森林総合研究所関西支所年報	(31)	73	2. 11
	落葉広葉樹林における林内地面蒸発量の測定	玉井 幸治 小林 忠一 服部 重昭	森林総合研究所年報	(26)	3	2. 11

森林総合研究所関西支所年報第32号 平成2年度

研究室	題名	著者名	書名	巻(号)	ページ	年・月
防 災	林野火災の延焼速度に関する実験的研究 —傾斜角と林床可燃物量の影響—	小林 忠一 玉井 幸治 服部 重昭 西山 嘉寛 (岡山林試)	日本林学会誌	73(1)	73~77	3. 1
	森林における水循環	服部 重昭	研究ジャーナル	14(3)	5~13	3. 3
	AMeDAS 資料利用の手引き	溝口 康子 玉井 幸治 山野井 克己 大谷 義一 松浦 純生	森林総合研究所企 画調整部研究情報 資料—B		33	3. 3
経 営	農家林業の現状—『戦後造林木』 の利用をめぐって—	野田 英志 山路 聖治 (愛媛大)	第101回日本林学 会大会講演要旨集		28	2. 4
	マツ枯損跡地へのヒノキ人工林の 採算性	家原 敏郎	森林総合研究所関 西支所研究情報	(16)	2	2. 5
	スギ天然林の成長と林分構造の推 移—遠藤スギ天然林択伐試験地の 成長経過—	家原 敏郎	第101回日本林学 会大会発表論文集		51~52	2. 10
	大阪管林局管内国有林の高齢級林 の収穫予測 (I) —高齢級人工林の現況調査—	家原 敏郎	日本林学会関西支 部大会講演集	(41)	211 ~ 214	2. 10
	大阪管林局管内国有林の高齢級林 の収穫予測 (II) —収穫予想表の作成—	家原 敏郎	日本林学会関西支 部大会講演集	(41)	215 ~ 218	2. 10
	ヒノキの最有利採材による素材材 積・価格算定システム	家原 敏郎	農林水産試験研究 におけるソフト ウェア開発利用研 究会講演要旨集平 成2年度		150 ~ 151	2. 11
	アカマツ林の直径分布と林分密度 の関係 —ワイブル分布による解析—	家原 敏郎	森林総合研究所関 西支所年報	(31)	51	2. 11
	高齢なスギの樹高成長曲線の検討	家原 敏郎	森林総合研究所関 西支所年報	(31)	59~62	2. 11
	山陰地方スギ収穫試験地の林分構 造と成長	家原 敏郎	森林総合研究所関 西支所年報	(31)	52	2. 11
	システム収穫法—エキスパートシ ステムとしての林分の成長モデル —	家原 敏郎	日本林学会誌	72(6)	529 ~ 533	2. 11
	近畿・中国地域のスギ、ヒノキ長 伐期林分の実態解析と収穫予測	家原 敏郎	国有林野事業特別 会計技術開発試験 成績報告書平成元 年度		3~49	2. 11
	「戦後造林木」の利用段階を迎え た農家林業の現状とその課題(1) —愛媛県・肱川地方の事例から—	野田 英志	林業経済	(509)	22~26	3. 3
	「若手林業労働力確保をめぐるあ らたな働き」—熊本県小国町・悠 木産業(株)を事例に—	野田 英志	林業経済研究	(119)	68~75	3. 3

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

研究室	題名	著者名	書名	巻(号)	ページ	年・月
	森林組合の今後の事業展開について	野田 英志	愛媛県農林水産部 森林林業課・森林 組合手引書〔森林 組合等育成対策事 業〕平成2年度		19~24	3. 3
樹 病	マツ類の材線虫病抵抗性発現に関わる要因Ⅰ—組織学のおよび化学的防御機構—	山田 利博 黒田 慶子 伊藤進一郎	第101回日本林学会 大会講演要旨集		150	2. 4
	マツ類の材線虫病抵抗性発現に関わる要因Ⅱ—線虫の分散およびテルペン類の増加—	黒田 慶子 山田 利博 伊藤進一郎	第101回日本林学会 大会講演要旨集		150	2. 4
	ナラ類の集団枯損被害について	伊藤進一郎 山田 利博 黒田 慶子 伊藤 賢介 谷口 守 (滋賀森林 セ) 三浦 由洋 (福井総合 セ)	第101回日本林学会 大会講演要旨集		154	2. 4
	シキミ・サカキの異常落葉現象	伊藤進一郎 山田 利博 萩原 進 (和歌山林 セ)	第101回日本林学会 大会講演要旨集		172	2. 4
	ヒノキの漏脂病	伊藤進一郎	森林総合研究所関 西支所研究情報	(16)	4	2. 5
	マツ材線虫病の進行と通水阻害	黒田 慶子	日本の松の緑を守る 会	(41)	10~18	2. 7
	マツ材線虫病の発病および病徴進展にかかわる通水阻害	黒田 慶子	Nippon Nougeika- gaku Kaisi	64(7)	1258~ 1261	2. 7
	外国産ヒノキ科樹木の樹脂胴枯病による被害	伊藤進一郎 山田 利博 黒田 慶子	森林総合研究所関 西支所年報	(31)	43	2. 11
	マツ材線虫病とテルペン類生成の関係	黒田 慶子 山田 利博 伊藤進一郎	森林総合研究所関 西支所年報	(31)	44	2. 11
	ヒノキ科樹木の樹脂胴枯病	伊藤進一郎	森林総合研究所関 西支所研究情報	(18)	3	2. 11
	マツノザイセンチュウ感染によるマツの枯損機構	黒田 慶子	植物防疫	44(11)	539 ~ 542	2. 12
アカマツにおけるマツ材線虫病の進行と通水異常	黒田 慶子 山田 利博 伊藤進一郎	日本林学会誌	73(1)	69~72	3. 1	
昆 虫	暖温帯地域の都市近郊林の昆虫相—誘蛾灯によって捕獲された蛾類およびピットフォールトラップによって捕獲されたオサムシ・ゴミムシ類—	伊藤 賢介 細田 隆治 田畑 勝洋	第101回日本林学会 大会講演要旨集		156	2. 4

森林総合研究所関西支所年報第32号 平成2年度

研究室	題名	著者名	書名	巻(号)	ページ	年・月
昆 虫	ベンジルアセテートによるヤノナミガタチピタマムシの誘引捕獲調査	細田 隆治 田畑 勝洋 伊藤 賢介	第101回日本林学会大会講演要旨集		161	2. 4
	林床植生変化法によるノウサギのヒノキ造林木食害防止法	山田 文雄 山本 芳男 (大阪管局) 田苗 安英 (大阪管局) 小西 忠重 (大阪管局)	第101回日本林学会大会講演要旨集		167	2. 4
	ツキノワグマによる林木食害と捕獲状況	山田 文雄 小泉 透	第101回日本林学会大会講演要旨集		169	2. 4
	ノウサギの造林木食害発生機構にかかわる栄養と繁殖に関する研究	山田 文雄	昭和63年度流動研究及び国内留学結果報告		136 ~ 139	2. 4
	スギカミキリ及びベニカミキリの同種雄雌抽出物に対する反応	田畑 勝洋 A. Fauziah (京 都 大) 伊藤 賢介 日高 敏隆 (京 都 大) 高橋 正三 (京 都 大)	第34回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨		81	2. 4
	風洞内のオス性フェロモン源に対するマツノマダラカミキリのメスの反応	A. Fauziah (京 都 大) 日高 敏隆 (京 都 大) 田畑 勝洋 伊藤 賢介 高橋 正三 (京 都 大)	第34回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨		81	2. 4
	スギ・ヒノキ穿孔害虫による加害・材質劣化機構の解明	野淵 輝 伊藤 賢介 ほか	農林水産技術会議事務局研究成果	(243)	147	2. 4
	第101回日林学会大会研究発表の概要(保護部門)	伊藤進一郎 伊藤 賢介	林業技術	(578)	27	2. 5
	ノウサギのからだづくり、その繁殖適応	山田 文雄	どうぶつと動物園	(484)	238 ~ 240	2. 6
	北海道におけるニホンジカの個体群管理の問題点	小泉 透	哺乳類科学	30(1)	93	2. 7
	スギ人工林におけるスギカミキリの発生経過	伊藤 賢介	森林総合研究所関西支所研究情報	(17)	3	2. 8
	森の仲間たち(1)一身近かな猛獣—ニホンツキノワグマ (<i>Selenarctos thibetanus japonicus</i>)	山田 文雄	森林総合研究所関西支所研究情報	(17)	4	2. 8
	Bark Stripping Damage of Conifers by the Japanese Black Bear.	山田 文雄	Asiatic Bear Conf.		35~39	2. 8
	Habitat Selection and Feeding Habits of the Japanese Hare (<i>Lepus brachyurus</i>), and Its Damage to seedlings.	山田 文雄	Abstracts of V International Congress of Ecology		303	2. 8
チベット高原にクチジロジカを追って (I)	小泉 透	森林防疫	39(8)	10~13	2. 8	

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

研究室	題名	著者名	書名	巻(号)	ページ	年・月
昆虫	The hunting effects on the Sika deer populations in Japan.	小泉 透	Abstracts of V International Congress of Ecology		342	2. 8
	チベット高原にクチジロジカを追って (II)	小泉 透	森林防疫	39(9)	11~16	2. 9
	都市近郊林等森林の昆虫要因の評価	横原 寛 後藤 忠男 伊藤 賢介	森林総合研究所所報	(25)	4~5	2. 10
	関西地域の都市近郊林の昆虫相—方類相およびオサムシ科昆虫相と林相との関係—	伊藤 賢介 細田 隆治 田畑 勝洋	第101回日本林学会大会発表論文集		519 ~ 520	2. 10
	こも巻処理及び誘引剤によるヤノナミガタチビタマムシの捕獲試験	細田 隆治 五十嵐 正俊 伊藤 賢介 浦野 忠久	第101回日本林学会大会発表論文集		545 ~ 546	2. 10
	ニホンジカの捕獲場所の分布とその特徴	小泉 透 小林 雅人 (京都大農)	第101回日本林学会大会発表論文集		565 ~ 566	2. 10
	京都市におけるニホンツキノワグマによる林木剥皮と捕獲状況	山田 文雄 小泉 透 北原 英治	第101回日本林学会大会発表論文集		569 ~ 570	2. 10
	紀伊半島産ヤチネズミの外部形態における特徴について	北原 英治	日本林学会関西支部大会講演集	(41)	27~30	2. 10
	キタコマユバチの性比調節	浦野 忠久	日本林学会関西支部大会講演集	(41)	47~49	2. 10
	スギ若齢林におけるスギカミキリの大発生の経過 (III)—成虫脱出孔の立木当たりの分布様式—	伊藤 賢介 小林 一三	日本林学会関西支部大会講演集	(41)	50~53	2. 10
	スギ若齢林におけるスギカミキリの大発生の経過 (IV)—立木当たりの脱出孔数と胸高直径との関係—	伊藤 賢介 小林 一三	日本林学会関西支部大会講演集	(41)	54~57	2. 10
	竹林・竹材害虫の生態 (I)—ベニカミキリの寿命と産卵数—	五十嵐 正俊 細田 隆治 伊藤 賢介	日本林学会関西支部大会講演集	(41)	69~70	2. 10
	Temminck のニホンノウサギ (<i>Lepus brachyurus</i> Temminck, 1844) の記載について	山田 文雄	野兎研究会誌	(17)	79~85	2. 10
	バンド処理及び誘引剤によるヤノナミガタチビタマムシの捕獲試験	細田 隆治 田畑 勝洋 伊藤 賢介	森林総合研究所関西支所年報	(31)	23	2. 11
	ベニカミキリの配偶行動と雄性フェロモン	田畑 勝洋 細田 隆治	森林総合研究所関西支所年報	(31)	28	2. 11
	都市林における孤立化の過程とその現況	小泉 透 田畑 勝洋	森林総合研究所関西支所年報	(31)	38	2. 11
	ノウサギの造林木食害に対する林床植生量改変の効果	山田 文雄	森林総合研究所関西支所年報	(31)	45	2. 11
	ニホンジカの捕獲場所の分布とその特徴	小泉 透	森林総合研究所関西支所年報	(31)	47	2. 11

森林総合研究所関西支所年報第32号 平成2年度

研究室	題名	著者名	書名	巻号	ページ	年・月
昆 虫	マツノマダラカミキリ寄生性糸状菌の新利用法の開発	細田 隆治 田畑 勝洋 伊藤 賢介	森林総合研究所関西支所年報	(31)	48	2. 11
	マツノマダラカミキリ雌成虫の卵巣発育に対する後食枝の影響	田畑 勝洋 伊藤 賢介	森林総合研究所関西支所年報	(31)	49	2. 11
	スギ若齢林におけるスギカミキリ大発生経過	伊藤 賢介	森林総合研究所関西支所年報	(31)	72	2. 11
	森の仲間たち(2) ヤチネズミ	北原 英治	森林総合研究所関西支所研究情報	(18)	4	2. 11
	幕末のけものたち—シーボルト著“Fauna Japonica” 解題—第3回 <i>Lepus brachyurus</i> (ニホンノウサギ)	山田 文雄 小松 輝久 (東京大)	京都大学自修会会報	(5)	14~18	2. 11
	京のけものたちパートⅡ、ノウサギ、①乱婚性、多い産子数	山田 文雄	京都新聞			3. 1
	京のけものたちパートⅡ、ノウサギ、②平均寿命は1才余	山田 文雄	京都新聞			3. 1
	京のけものたちパートⅡ、ノウサギ、③アナウサギと相違	山田 文雄	京都新聞			3. 1
	京のけものたちパートⅡ、動物ウォッチング、宇治から信楽へ	山田 文雄	京都新聞			3. 1
	竹林害虫ベニカミキリの生態と防除	細田 隆治	森林総合研究所所報	(29)	3	3. 2
	森の仲間たち(3)—非運の野生動物—ニホンカモシカ	北原 英治	森林総合研究所関西支所研究情報	(19)	4	3. 2
	北国には住めないマツノマダラカミキリ	五十嵐正俊	森の虫の100不思議		16~17	3. 2
	弱さを助け強さを挫く?	伊藤 賢介	森の虫の100不思議		184 ~ 185	3. 2
	時ならぬ黄葉の演出家	細田 隆治	森の虫の100不思議		196 ~ 197	3. 2
	スギ若齢林におけるスギカミキリの大発生Ⅰ—脱出成虫数の年次変動と被害木の発生経過—	伊藤 賢介 小林 一三	応用動物昆虫学会誌	35(1)	94	3. 2
	An Outbreak of the Cryptomeria Bark Borer in a Young Japanese Cedar Plantation. I. Annual Fluctuations in Adult Population Size and Impact on Host Trees.	伊藤 賢介 小林 一三	Appl. Ent. Zool.	26(1)	63~70	3. 2
	天敵利用による松くい虫防除調査	細田 隆治 田畑 勝洋 伊藤 賢介	平成2年度林野庁委託事業報告書		58~64	3. 3

試験研究発表題名，組織，情報，その他

(1) 沿 革

昭和22年林政統一による機構改革に伴い，林業試験研究機関を整備することになり，同年4月大阪営林局内の試験調査部門を編成替のうえ農林省林業試験場大阪支場として局内に併置された。

関 西 支 所

- 昭和25. 4 京都市東山区七条大和大路に大阪支場京都分室設置さる
- 昭和27. 7 京都分室を廃止し，そのあとに支場を移転し京都支場と名称を改む
- 昭和28. 2 新たに伏見区桃山町に支場庁舎敷地として国有林の所属替をうけ，同時に桃山研究室を設置
- 昭和31. 3 庁舎・研究室を新設・移転
- 昭和34. 7 関西支場と名称を改む
- 昭和40. 3 研究室等を増改築
- 昭和41. 4 部制設置（育林・保護の2部）
 - 〃 防災研究室を岡山試験地から移転
- 昭和51.11 庁舎・研究室（昭和31.3新築のもの）を改築
- 昭和57.12 鳥獣実験室を新築
- 昭和59.12 治山実験室を新築
- 昭和62.12 森林害虫実験棟（旧昆虫飼育室）を建替え
 - 〃 危険物貯蔵庫を建替え
- 昭和63. 3 ガラス室，隔離温室を建替え
- 昭和63.10 林業試験場の組織改変により森林総合研究所関西支所と名称を改む
 - 〃 風致林管理研究室を育林部に増設
 - 〃 調査室を連絡調整室と名称を改む
- 平成元.12 粗試料調整測定室を新築

岡 山 試 験 地

- 昭和10. 8 岡山市上道郡高島村に水源涵養試験地として設置
- 昭和12.12 林業試験場高島試験地と名称を改む
- 昭和22. 4 林業試験場大阪支場の所管となり，同支場高島分場と名称を改む
- 昭和27. 7 林業試験場京都支場高島分場と名称を改む
- 昭和34. 7 林業試験場関西支場岡山分場と名称を改む
- 昭和41. 4 林業試験場関西支場岡山試験地と名称を改む
- 昭和60.12 試験地無人化となり事務所を閉鎖する
- 昭和63. 9 旧庁舎，宿舎など施設を取壊す
- 昭和63.10 林業試験場の組織改変により試験地廃止さる

(2) 土地および施設

1. 土地

		関西支所
庁舎敷地		63,403m ²
内訳		
庁舎	舎	9,904
苗畑	畑	10,923
樹木園	園	5,831
見本林・実験林	林	34,607
その他の施設等		2,138
宿舎敷地		4,714
鳥津実験林		7,045
宇治見実験林		3,812
岡山実験林		13,337
計		92,311m ²

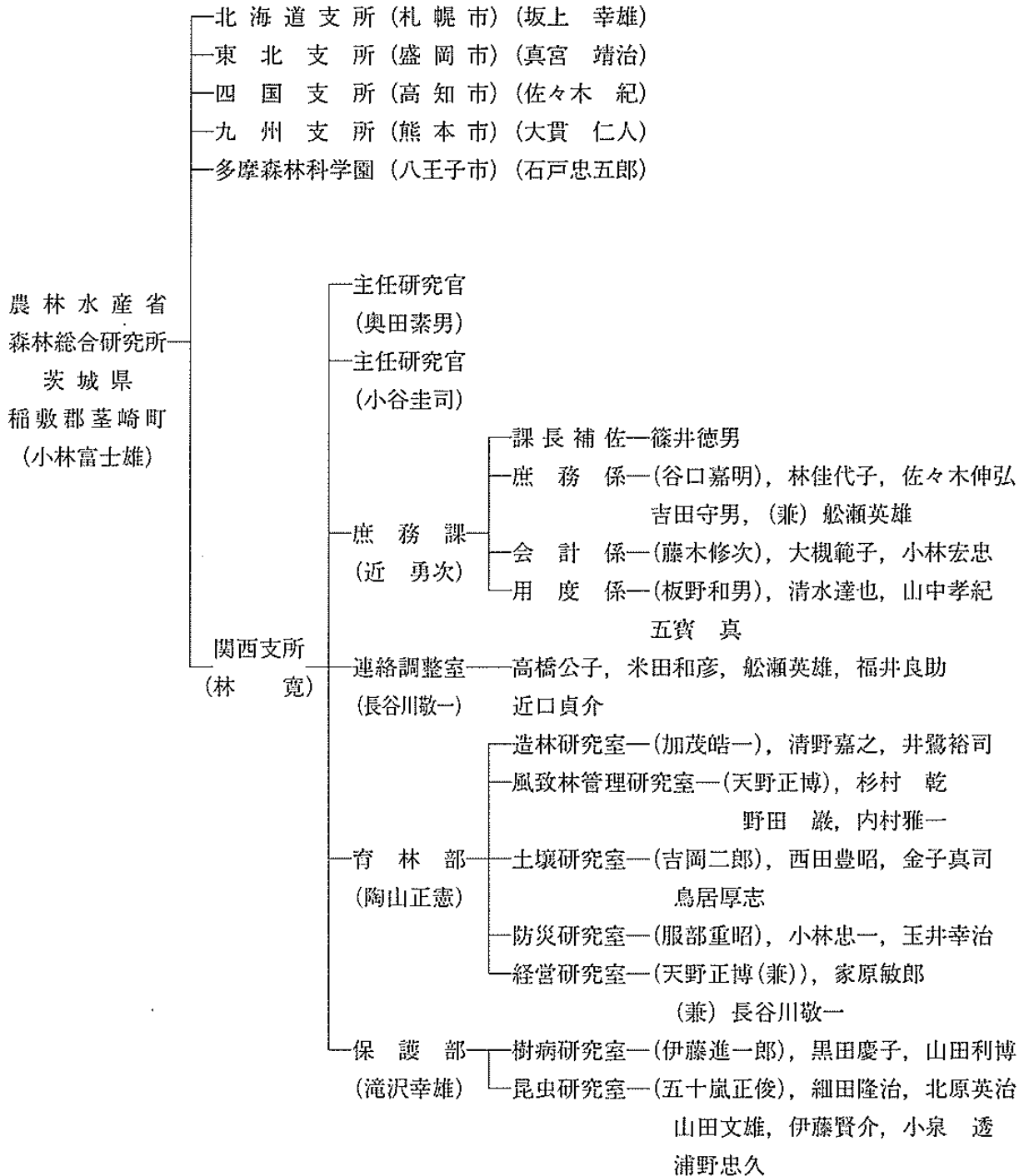
2. 施設 (延べ面積)

庁舎	5棟	2,630m ²
内訳		
研究室(本館)		1,507
研究室(別館)		628
会議室		166
機械室		140
試料室		189
温室	1棟	85
ガラス室	1々	56
隔離温室	1々	124
殺菌培養室	1々	48
樹病低温実験室	1々	91
森林害虫実験棟	1々	219
鳥獣実験室	1々	139
治山実験室	1々	157
粗試料調整測定室	1々	124
材線虫媒介昆虫実験室	1々	41
人工降雨室	1々	19
事務連絡所	1々	223
その他	10々	356
宿舎	6々	1,048
計	33棟	5,360m ²

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

(3) 組 織

(平成3年3月31日現在)



(4) 人 の 動 き

2. 4. 1 付

本所総務部会計課支出係へ
育林部風致林管理研究室に

庶務課会計係

海老原文彦
杉村 乾

2. 5. 1 付

育林部風致林管理研究室に	本	所	内村雅一
保護部昆虫研究室に	本	所	浦野忠久

2. 12. 1 付

本所林業経営部経営管理科長へ	育林部経営研究室長	黒川泰亨
----------------	-----------	------

3. 3. 16 付

本所企画調整部長へ	支 所 長	有光一登
支所長に	本 所	林 寛
主任研究官に	本 所	小谷圭司
庶務課用度係に		五寶 真

3. 3. 25 付

本所総務部会計課予算係へ	庶務課庶務係	山田浩詞
育林部土壌研究室に	本 所	金子真司
庶務課庶務係に	本 所	佐々木伸弘

3. 3. 31 付

退 職	主任研究官	奥田素男
退 職	育林部土壌研究室	西田豊昭
退 職	庶務課庶務係長	谷口嘉明

(5) 会 議 の 開 催

1. 関西地区林業試験研究機関連絡協議会

森林総合研究所の関西支所、四国支所の管内2府16県の公立林業関係研究機関、関西林木育種場、同山陰支場、四国支場、森林総研関西支所、四国支所など24機関の長を会員として構成された協議会であり、年一回定期総会が開催される。

平成2年度は第43回の総会にあたり、徳島県林業総合技術センターの企画により5月31日、6月1日の両日徳島市で開催された。

会議は国の機関ならびに林業試験研究機関連絡協議会（全林協）など中央における林業関係の試験研究動向が紹介され、ついで各研究専門部会（10部会）から活動の状況が報告、今後の計画が提案された。この中で、休止状態にあった樹木保全部会が活動を再開することとなった。また、この会議に中国ブロック、四国ブロックから府県に対する試験研究助成費の拡充、国庫助成を要望する課題などについて提案があり、中央機関に要望することを決議した。

2. 林業研究開発推進近畿・中国ブロック会議

林業研究開発推進会議要領にもとづいて毎年開かれるこの会議は、今年で18回を数え10月25日当支所会議室で開催された。会議には府県側から近畿・中国地区2府12県の林務部局行政担当者および林業試験研究機関の長が出席し、また国側から大阪営林局、関西林木育種場、同支場の関係者ならびに林野庁研究普及課の佐藤係長、森林総研の松本次長が出席した。

会議はまず林野庁、森林総研からの挨拶のあと議事に入り、林野庁、森林総研、関西林木育種場から技術開発に関する動向の紹介がされた。ついで各府県から主要な研究の成果52題が報告さ

試験研究発表題名、組織、情報、その他

れ、近畿・中国ブロックにおける重要研究課題の成果として12課題を抽出した。さらに技術開発に関する要望課題が各府県から提案され討論が行われた。その分野別の課題数は次下のとおりである。

造林分野	多雪地帯における森林造成に関するもの6題、広葉樹林育成に関するもの4題、育種に関連するもの2題。
防災分野	水源かん養機能に関するもの2題。
経営分野	低コスト、省力技術に関するもの2題、アカマツ林に関するもの1題。
保護分野	スギ梢頭枯れ、トビグサレ防除に関するもの各1題。
作業・機械分野	路網配置と機械による作業体系に関するもの5題。
リモセン分野	リモートセンシングデータの利用に関するもの3題。
特産分野	きのこの育種、栽培に関するもの5題。
木材・林産分野	針葉樹材の利用技術の開発に関するもの9題。

これらの課題を中心とした討論の結果、近畿・中国ブロックにおける今年度の地域重要課題として次の4課題を抽出した。

- ① 県産針葉樹材の利用技術の開発
- ② 路網の配置と機械化による作業体系の確立
- ③ 積雪地帯における森林の木材生産と保全機能の増進
- ④ リモートセンシングデータの林業的利用用途の開発

3. 関西支所研究成果発表会

この発表会は、関西支所の研究者によって得られた研究の成果を広く利用してもらうため公開で行われており、第5回目に当たる今年度は、10月26日支所会議室に府県関係者、国有林関係者、民有林関係者など多数の出席を得て開催された。

発表会は森林総研森林環境部の井上敏雄植物生態科長による特別講演「森林をめぐる地球環境問題－温暖化と森林資源の保全」があり、ついで支所研究者3名による研究成果の発表と討論が行われた。これらの成果の概要は「研究成果発表会記録」としてP67～69に収録した。

4. 関西支所研究検討会・研究推進会議

研究検討会は2月28日、3月1日の両日、全研究員出席のもと支所会議室で開催された。研究成果個表にもとづき研究問題、大課題ごとに研究成果の発表と討論が行われた。今年度が研究基本計画の前期終了の年であることもあって、研究問題XVでは12課題が完了し、次年度から新規として15課題が、また研究問題XVIでは完了課題5、新規課題7が提案され基本計画の中期にむけた課題の移行が行われた。

研究推進会議は3月5日、支所会議室で行われた。会議では研究問題XV「風致林および都市近郊林の育成・管理技術の高度化」、研究問題XVI「関西地域における森林造成技術と経営管理方式の確立」の両研究問題について主要な成果10題、速報課題6題、重要研究課題素材7題をそれぞれ抽出し、新規課題について課題番号の調整を行った。

また、特別検討事項は研究問題XVIに関連して「有名林業地における生産技術と経営方式の実態について」をとり上げ、京都府下京北町、美山町、和知町ならびに奈良県下吉野林業地において現地検討会を開催した。

(6) 受託研究等調査・指導

用 務	委 託 者	用 務 先	実施月日	出 張 者	
				研究室	氏名
「尾道地区地域防災対策特別整備治山事業の調査業務」 現地指導	林業土木施設研究所	広島県尾道市	2.7.4 ～6	育林部長	陶山 正憲
「林業情報システム化対策事業」 現地調査	全国林業構造改善協会	千葉県我孫子市	2.8.27 ～29	経 営	黒川 泰亨
〃	〃	〃	〃	風 致 林	天野 正博
台風19号による森林被害の現地調査指導	三重県林業技術センター	三重県熊野市	2.12.17 ～18	育林部長	陶山 正憲
〃	〃	〃	〃	造 林	加茂 皓一
〃	〃	〃	〃	土 壌	吉岡 二郎
平成2年度森林計画検討委員会 現地調査	京都府農林水産部長	愛媛県久万町	3.2.5 ～6	風 致 林	天野 正博
林業情報システム化対策事業検討	全国林業構造改善協会	茨城県莩崎町	3.2.18 ～21	風 致 林	天野 正博
台風19号による森林被害の現地調査指導	三重県林業技術センター	三重県熊野市	3.2.18 ～22	造 林	加茂 皓一
〃	〃	〃	〃	造 林	井鷲 裕司
〃	〃	〃	3.3.11 ～13	育林部長	陶山 正憲
〃	〃	〃	〃	土 壌	吉岡 二郎
〃	〃	〃	〃	防 災	小林 忠一

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

(7) 当所職員研修

氏名	研修先	研修期間	研修内容
小林 宏忠	森林総合研究所	2.4.3～2.4.7	平成2年度Ⅲ種試験採用者研修
〃	法円坂会館	2.4.10～2.4.13	近畿地区新規採用者職員研修
杉村 乾	森林総合研究所	2.4.22～2.4.28	平成2年度新規採用研究員研修
高橋 公子	大阪合同庁舎第2号館	2.5.23～2.6.1	第36回近畿地区中堅係員研修
伊藤進一郎	森林総合研究所	2.8.27～2.9.1	平成2年度所内短期技術研修
内村 雅一	ECC 外語学院	2.10.18～3.3.18	英語研修
浦野 忠久	〃	〃	〃

(8) 技術研修受け入れ

氏名	所属機関	研修期間	研修内容
影山 光男	岡山県林業試験場	2.6.1～2.8.31	森林昆虫類の生態
米田 吉宏	奈良県林業試験場	2.8.1～2.10.31	森林の保育
宮島 淳二	熊本県林業研究指導所	2.9.1～2.11.30	樹病に關与する病原菌の分類、検索に關する技術の修得

(9) 海外出張

氏名	出張先	出張期間	研究課題
有光 一登	ブルネイ	2.7.7～ 2.7.22	ブルネイ林業研究計画終了時評価調査
井鷲 裕司	インドネシア	2.11.14 ～2.12.22	インドネシア熱帯降雨林研究計画フェーズ2に係る専門家
伊藤進一郎	マレーシア	2.11.14 ～3.1.9	マレーシア・サバ州造林研究開発訓練計画に係る専門家
清野 嘉之	マレーシア	3.1.27 ～3.2.10	マレーシア国複層林施業技術現地実証調査基礎二次調査
吉岡 二郎	タイ王国	3.3.25 ～3.4.7	タイ造林研究訓練計画フェーズ2に係る専門家
加茂 皓一	〃	〃	〃

(10) 海外派遣

氏名	出張先	出張期間	研究課題
該当なし			

(1) 見 学 者

		内 訳						計
		国	府 県	大 学	小 中 高	林業団体	一 般	
国 内	件数	11	8	7	2	0	1	29
	人数	105	107	140	65	0	2	419
国 外	件数	インドネシア(3), カナダ(1), フィリピン(2)						6
	人数							

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

(12)試験地一覽表

試験地名	営林署	担当区	林小班	樹種	面積	設定年度	終了予定年度	担当研究室
高取山スギ人工林皆伐用材林作業 収穫試験地	奈良	下市	56ほ 49ほ	スギ	(ha) 0.60	昭10	平12	経営
高取山ヒノキ人工林	〃	〃	56ほ	ヒノキ	0.40	〃10	〃9	〃
高野山スギ人工林	高野	高野	31ろ	スギ	0.17	〃10	〃25	〃
高野山ヒノキ人工林	〃	〃	31ろ	ヒノキ	0.25	〃10	〃25	〃
滝谷スギ人工林	山崎	西谷	136に	スギ	2.25	〃11	〃32	〃
新重山ヒノキ人工林	福山	三和	49と	ヒノキ	1.05	〃12	〃28	〃
遠藤スギその他択伐用材林作業収 穫試験地	津山	上斉原	39ろ	スギ	1.67	〃12	〃69	〃
西山アカマツ天然林皆伐用材林作 業収穫試験地	広島	河内	1,032い	アカマツ	1.02	〃12	〃8	〃
滑山スギ人工林	山口	滑	11り	スギ	1.60	〃13	〃28	〃
奥島山アカマツ天然林画伐用材林 作業収穫試験地	大津	八幡	79は	アカマツ	1.75	〃13	〃29	〃
地獄谷アカマツ天然林その他択伐 用材林	奈良	郡山	17わ	アカマツ スギ・ヒノキ	1.73	〃15	〃54	〃
篠谷山スギ人工林皆伐用材林	倉吉	根雨	1,015い	スギ	0.80	〃34	〃25	〃
茗荷湖山ヒノキ人工林	新宮	飛鳥	41へ	ヒノキ	0.17	〃35	〃62	〃
白見スギ人工林	〃	新宮	5ほ	スギ	1.24	〃37	〃43	〃
六万山スギ人工林	金沢	白峰	55は	スギ	0.79	〃37	〃57	〃
西条保育形式試験地	広島	志和	11へ	アカマツ	2.15	〃33	〃6	造林
福山	福山	上下	16へ	スギ	2.25	〃33	〃6	〃
吉永植栽比較試験地	岡山	和気	1,005ほ	スギ他5	1.54	〃41	〃8	〃
林地肥培西条(クロマツ)試験地	広島	河内	1,026に	クロマツ ヒノキ	0.32	〃39	〃7	土壌
林地肥培高野(スギ)試験地	高野	高野	4い	スギ	0.16	〃46	〃8	〃
竜の口山量水試験地	岡山	岡山	11ほ・に・は	アカマツ他	44.99	〃10	〃8	防災
馬乗山試験地	福山	大野	69ち	スギ・ヒノキ	6.50	〃43	〃7	造林
小関林内更新試験地	大津	大津	15ら	ヒノキ	2.10	〃55	〃2	〃
焼尾試験地(ヒノキ)	亀山	阿山	72に	ヒノキ	0.15	〃59	〃6	土壌
青岳試験地(ヒノキ)	〃	〃	81ほ	ヒノキ	0.30	〃59	〃6	〃
複層林施業試験地	大津	大津	20わ	ヒノキ	0.24	〃59	〃6	造林
竹林施業技術の改良試験地	京都	木津	523い	マダケ	0.31	〃60	〃2	土壌
針広混交誘導試験地	神戸	箕面	72ほ・り	ヒノキ	1.50	〃60	〃2	造林
水谷水文試験地	京都	木津	509い	広葉樹	51.60	〃63	〃10	防災
坂ノ谷ミズメ個体群更新機構試験 地	山崎	和田山 奥谷		広葉樹		〃63	〃6	造林
嵐山国有林風致試験地	京都	嵐山	38	スギ他	59.03	平元	〃10	風致林

(13) 気象年報

2年 月	気温℃ 120 cm							気温別日数 120 cm				
	平均 9 h	平均 最高	平均 最低	最高	起日	最低	起日	最高		最低		
								< 0℃	≥ 25℃	< -10℃	< 0℃	≥ 25℃
1	1.8	8.0	-0.7	12.5	10,18	-5.9	25				17	
2	5.7	11.2	2.7	18.4	22	-2.2	10				5	
3	8.6	14.3	3.0	22.4	23	-2.3	9				8	
4	14.0	19.5	7.2	27.1	27,28	2.2	6		3			
5	19.0	24.1	12.7	29.6	27	6.0	1		16			
6	24.9	29.6	18.9	35.9	24	13.2	3		26			
7	28.1	32.9	22.9	37.1	19	17.6	5,6		28			7
8	30.2	35.5	23.4	39.0	7	17.9	28		31			8
9	25.4	29.3	20.4	37.1	1	14.9	21		24			1
10	17.8	22.4	13.0	28.1	3	5.6	29		6			
11	12.1	18.6	8.4	23.1	2,5	2.2	22,24					
12	6.0	12.3	3.1	17.7	10	-0.4	24				2	
年 極値				39.0	8/7	-5.9	1/25		134		32	16

2年 月	湿度%			降水量 (mm)			量別降水日数					
	平均 9 h	最小	起日	総量	最大 日量	起日	≥1 mm	≥10 mm	≥30 mm	≥50 mm	≥100 mm	≥300 mm
1	76.2	23.5	5	61.5	29.0	29	2	2				
2	73.5	26.5	18	110.8	45.5	23	6	3	1			
3	64.0	15.0	21	119.0	28.5	1	8	4				
4	59.1	14.3	30	89.0	24.5	8	3	4	1			
5	60.4	12.8	28	116.5	36.0	19	3	4	2			
6	63.9	13.6	11	143.5	33.0	16	5	5	1			
7	64.5	27.7	27	156.5	66.0	3	4	2		1		
8	54.5	20.1	1	26.0	7.5	17,20	6					
9	67.6	22.0	5	272.5	88.5	19	6	5	2	1		
10	66.9	21.3	21	151.0	46.5	8	5	3	2			
11	69.7	23.3	10	160.5	56.6	30	6	1	2	1		
12	68.7	25.8	23	25.5	7.5	20	7					
年 極値		12.8	5/28	1,432.3	88.5	9/19	61	33	11	3		

年報編集委員会

田 畑 勝 洋
長谷川 敬 一
山 田 文 雄
野 田 巖

1991年10月21日印刷
1991年10月25日発行

森林総合研究所関西支所年報

第32号 平成2年度

発行所 農林水産省森林総合研究所関西支所
〒612 京都市伏見区桃山町永井久太郎官有地
TEL (075) 611-1201

印刷所 株式会社 洛 陽
〒612 京都市伏見区横大路一本木町27-9
TEL (075) 621-6669(代)